

日々初心

市長コラム・日々初心

市長●穂積 志



ノースアジア大学理事長の小泉健さんと(4月13日、ノースアジア大学との観光に関する連携協定調印式)

就任から一年

うらかな春の日差しも、日に日に夏の力強い光を感じさせるようになってきました。まさに春爛漫、四季のメリハリに富んだこの秋田の地に生まれたしあわせを実感する季節です。それとも、そろそろゴールデンウィークの疲れが出てきているころでしょうか。

早いもので、市長就任から一年たちました。就任前に考えていたこととそれほど違いがなかったこともあれば、中には思い描いていたことと、ややかけ離れていた事柄もありました。

マニフェストでいえば、太陽光発電に対する補助や教育ローンへの支援など、「一つ一つ具体的に行動する」ことにより市民生活の向上に貢献できたことなどは前者の代表的な例といえます。一方、後者については想定を超える経済・雇用対策の難しさを今ひしひしと感じています。

国や県の政策と連動し、また、役所全体で知恵を出し合い、できる限りの手立てを打ってきました

た。しかしそれでも根本的な解決に至っていません。経済・雇用については今後さらに力を入れていきたいと思っています。

さて、今年度は新たな総合計画や行政改革大綱、総合都市計画の策定を通じて秋田市の将来を描く「ビジョン策定の年」にしたいと思っています。かつて経済が高度成長の中にあつて社会全体が右肩上がりだった時代は、特に「成長分野」を定める必要はなかったのですが、これからの社会はそうはいきません。成長分野に焦点を当て「選択と集中」の考え方のもとで財源や人材などの行政資源を配分しない限り、故郷秋田を次代に引き継ぐことはできないと思っています。

①産業の振興②観光の振興③環境にやさしいまちづくり④エイジフレンドリーシティの実現⑤子どもを生み育てやすい環境づくり⑥ブランドイメージ戦略：私が描く成長戦略はこの6つです。現実を踏まえつつも夢と目標は忘れませ



この秋田を胸を張って引き継ぎたい

ん。戦略の具体的な内容については、総合計画策定の中で明らかにしていきます(ちょうど次のページに秋田市観光アドバイザー起用の記事がありますが、これも②観光の振興戦略の一環です)。

1年前、この欄にこんなことを書きました。

「市民一人ひとりが、来年の春も、またその次の春も、しあわせに桜を眺めることができるように市政運営に努めてまいります」私の得た天命と考えています。今年の桜はみなさんの目にどのよう映っていたでしょうか。

◆秋田市ホームページで市長の動向や記者会見の内容などをお伝えしています。

「市長ほっとコーナー」<http://www.city.akita.akita.jp/city/mayor/>

助言だけでは終わらない。 秋田の活性化のため 一緒に汗をかきましょう！

…秋田市観光アドバイザー・吉井靖さん



吉井 靖さん…昭和38年佐渡島生まれ。株式会社うぶすな代表取締役・合同会社スマイル顧問。内閣府地域活性化伝道師。平成13年に小泉内閣のタウンミーティングをインターネット中継で配信する。事業を必ず一件落着させることから“企画屋の水戸黄門”と呼ばれる。

市では平成22年度を“秋田市観光元年”として、観光に力を入れていきます。その一つが秋田市観光アドバイザーの起用。地域活性化のプロである吉井靖さんに就任してもらいました。

吉井さんは故郷の佐渡島に里帰りするたびに衰退を感じていました。高卒者が600人いるのに島の求人は17人しかない、という状況について一念発起。地域活性化のため、お笑い芸人を滞在させてその様子をネット配信する「佐渡、お笑い島計画」を始めました。運営の母体となった「合同会社スマイル」は島出身の若者がUターンする場になり、地元の雇用創出にも貢献しています。

吉井さんの任務は大きく4つ。
①オンラインワンの観光戦略を打ち出す
②市のIT環境を刷新して情報発信にこだわる
③観光資源を再発見し磨き上げる
④秋田ブランドを全国さらには海外の市場に展開することです。「秋田は何もないから…」と思っています。でも外から見ればそんなことはありません。『秋田美人』は有名ですし、農産物も工芸品も魅力的なものがたくさんあります」と話します。

また、吉井さんは「地域活性化で大事なものは、住んでいる人が覚悟を決めて頑張ること。僕はそのきつかけに過ぎません」と、住民参加を呼びかけます。

「最終目標は、秋田に『ヒトとオカネ』を移動させること。地方

都市でも頑張りだいで大都市に負けない取り組みができると信じています。僕は毎月東京から秋田に来て、情報収集のために市内を歩き回ります。この顔を見かけたら気軽に声をかけてください！」

地域活性化講演会

5月18日(火)
午後1時30分～4時30分
市役所2階正庁

吉井靖さんと、総務省地域情報アドバイザーの丸田一さんが「宝の山・秋田が変わる！」をテーマに講演。無料。先着30人。

申し込み 5月10日(月)から観光物産課
☎(066)2112



文化財マップでぐるっと歩こう

情報満載のマップです！

文化振興室では、地域の文化財や文化施設をもっと身近に感じることができるよう、市民のみなさんと協働で「文化財イラストマップ」を作りました。今回作成したのは中通、大町などの中央地区編。今後さまざまな地区のマップを作る予定です。

配布場所 市民相談室(市役所1階) 各公民館・地域センター・市立文化施設・市立図書館 など
問 文化振興室 ☎(066)2246

文化財マップで文化財探し

文化財マップで文化財探し
参加者に文化財の一部を写した写真を渡します。どの文化財を撮影したもののなか、文化財マップを手に探しに行こう！

日時 5月22日(土)午前9時～正午
*大町の旧金子家住宅から出発します。

保険料 100円 **定員** 25人

申し込み 5月10日(月)午前8時30分から
文化振興室 ☎(066)2246